

CELERY



No.19
1994

CAMPUS
COMMUNICATION



中村学園大学・中村学園短期大学／広報

体験！ 実感！

— 思っているより世界はずっと狭い —



雄大な自然のオーストラリアへ

海外語学研修に参加して

児童学科・児童教育学専攻2年

吉田 しおり



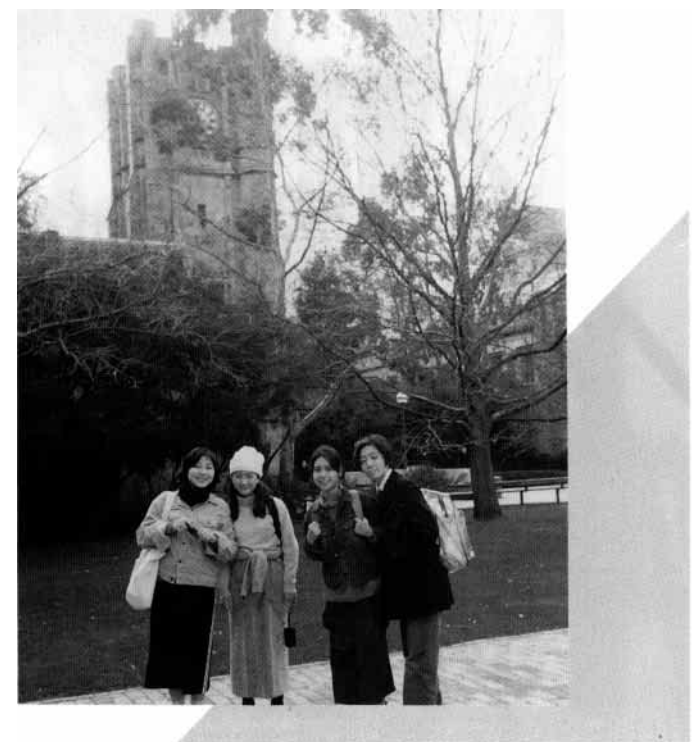
▲左からウォレス・クラベ教授、吉田さん、バーバラ先生。語学研修の修了式にて

私たちは七月三十一日から約三週間、オーストラリアの最南にあるビクトリア州のメルボルンで、ホームステイをしながら、同国で最も歴史の古い国立メルボルン大学で英語の研修を受けてきました。今回の参加者は短大生二十八名、大学生二名、卒業生一名の計三十一名。到着した翌日の八月二日には、大学でクラス分けの試験とオリエンテーションがあり、三日から授業が始まりました。三人のオーストラリア人の先生が担当で「授業」という堅苦しさは無く、楽

しく気楽に英語を学べました。でも、何も知らないまま飛び込んだオーストラリアの家庭では、最初の二週間は慣れない習慣、食事、言葉に苦労し、日本に帰りたいと思うばかりでした。特に、自分の意志を正確に伝えられない時は、悔しくて悲しく思いました。二週間目になると生活にも慣れ上手にはいえないけれど、英語で話すことができ、ホストファミリーとの会話も楽しい一時として過ごすことができました。楽しい日々はあっという間に過

ぎるもの。三週間のステイを終えてホストファミリーとの別れは、とても辛いものでした。でも、ステキな思い出をつくり、一カ月前よりもはるかに上達した（？）英語力を身につけることができ、しかも第二の家族ができたことはとても嬉しく、この研修に参加してとても良かったと思います。この後メルボルンからシドニー

に移り、三日間滞在しました。八月のオーストラリアは真冬で、猛暑の日本とは全く逆の冬景色。日中の気温も摂氏十度以下でしたが、美しい雄大な自然を持つオーストラリアで生活した一カ月間は、私の最高の思い出となりました。人種や文化、言葉の違いを感じさせないこの国は、きっと誰もが大好きになるステキな国でした。



▲メルボルン大学の構内で



チベット高原の北部へ

日中合同学術探検

食物栄養学科・食物栄養科 波平 元辰 教授

可可西里は、モンゴル語で「青い高原」を意味し、中国の青海省とチベット自治区にまたがる青藏高原の北部に位置する。19世紀に、チベットを目指した探検家が通過した記録があるだけで、その後は未知の世界となっている。

食物栄養学科の波平元辰教授は、学生時代に創設した九州大学探検部の創立30周年記念日中合同可可西里学術探検隊の副隊長として7・8の2カ月間、この地を踏査。その感想を聞いてみた。

自然

夜空を見上げると手に取るように星がみえて、空がものすごく近く感じました。草原をわたる風の音、雪山から流れる小川のせせらぎ。じっとしているだけで自然との対話ができる。久しぶりに自然の一員になった喜びを感じました。昼間は温度が二〇度近くまで上がり、夜はマイナス六度くらいまで下がります。空気は乾燥していて、減多に雨は降らないのですが、ある朝、あたり一面雪景色に変わっていたこともありました。高度が四〇〇〇～五〇〇〇メートル、酸素量は平地の約二分の一、冬はマイナス二〇度にもなるこの地では、樹木は生えません。その代わり、大草原が広がっています。自然の過酷な地なので、動物もごく少数の種だけが生息しているに過ぎません。ヤクやチベットノロバやナキウサギなどです。ナキウサギは氷河期の生き残りと言われている、臆病な動物ですが、愛嬌があり好奇心が強く、地面に掘った巣穴からよく顔を出しては私達を楽しませてくれました。この地域は昔は海だったのだ、湖がたくさんあります。塩湖が多いのですが、高度が六〇〇〇メートルをこえる雪山が無数にあり、ここから雪解け水が流れ込む淡水湖もあります。キャンプはこうした流れの近くでしました。

人と生活

学術面では、「民族と食生活」について観察してきました。この過酷な自然の中で遊牧民、砂金取りの人達がどのような生活をしているか。食べ物をどう調達し、どう調理しているかです。温度が低く乾燥地帯なので、農業はできません。そのため、生活は牧畜に頼らざるを得ません。牧畜の中心は羊、牛、ヤクで、肉、乳、バター、ヨーグルトなどとして食べていました。野菜はほとんどとっておりません。小麦粉はうどんや蒸しパンなどにして食べています。遊牧民といっても、チベット系、漢族系、モンゴル系などがあり、テントの形がそれぞれ違っているのが興味深かったですね。食料は、約二〇〇キロメートル



▲チベット族のテントの前で（左はし波平教授）

環境順応

離れたオアシスの町まででかける何でも揃っており、手に入るのですが、毎日の食事はシンプルな伝統食でした。高度差がかなりあるため、気圧の急激な変化で高山病にかかる隊員もいました。一応、日本で低圧タンクに入って高所順応をしてきたせい、私にはあまりひどい症状は現われませんでした。ただ、それでも頭痛や吐き気にまわりました。高山病は体力と年齢といったものよりも、その人の体質や日頃スポーツをして心肺機能を高めているかどうかによるところが多いような気がします。それから、これは環境順応とは違いますが、日本人は荷物が多く、その中にはかなり重

コミュニケーション

この探検は、実行までに三年かかりました。可可西里は未解放地域のため、許可手続は困難をきわめ、私も三回、北京を訪問し中国側の関係者と話し合いをしました。一時は断念せざるをえない事態にもなりましたが、なんとか許可を貰えたのは、隊長が長年にわたる中国との友好的な交流を続けていたおかげです。また、探検中、何度も困難に出会いましたが、それを克服できたのは、私達と中国側のコミュニケーションがうまくいったからだだと思います。もちろん多くの方々からの資金援助、物品援助がなければ実現できなかったことです。人とのつながりは、いつも大切にしておくべきだと改めて感じました。



成功めざしボランティア・スタッフ1万人の研修が始まる 1995年ユニバーシアード福岡大会

学生のオリンピックといわれるユニバーシアード福岡大会までいよいよあと一年を切った。大会は世界百三十カ国、地域から約六〇〇名の選手、役員を迎えて、十二競技が行われる。残念ながら本校から選手として参加する学生はいないが、二十名以上の学生がボランティアとして参加、大会を盛り上げるのに一役買おうとはりきっている。

「できれば、選手村で、選手の世話をするような活動がしたい」という渡邊明子さん（大学・児童学科二年）と、「競技会場でのボランティアで、選手達と感動を共有できたらいいな」と思っている中村美佐子さん（大学・児童学科二年）も、一般ボランティアとして登録しているそんな中の一人だ。九月に行われたアジア太平洋フェスティバルのナイトパレードではユニバーシアードをアピールした。そして十月からは、いよいよ具体的なボランティア研修も始まった。研修に参加して二人が驚いたのは、実に幅広い年齢層の人達が登録していること。下は小学生から上は八十五歳まで約一万人の市民が今、大会に備えて研修を受けている。特に小学生が一般ボランティアで活動するのは、福岡大会が初の試みになるとか。

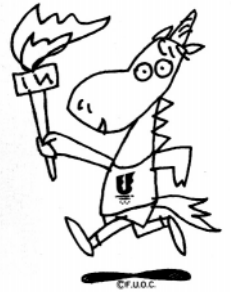
基本研修では、ユニバーシアードの歴史や、ボランティア活動の意味などを学んだ。これから研修



アジア太平洋フェスティバルのナイトパレード



一般ボランティアとして参加する渡邊さん(左)、中村さん(右)



も本格的になるようだが、この大会をだんだん身近に感じてきていようだった。

海外青年協力隊 ヨコ・フジカケの パラグアイ通信 (4)

久しぶりに新しい村を受け持った。遠いが、時間をやりくりしてバイクで出かけていく。家ほどもある大きなマンゴーの木の下で、黒板と椅子を並べて授業開始。今回のクラスは皆若い。生徒二十四人の平均年齢は十六歳といったところだろう。しかし、今までの生徒達とは反応が全然違う。授業を聞いているのか、理解できているのか今一つ解らない。「わかった?」と聞くと「うん」と、皆答えはするが、やる気があるのかわからないのか、私には解らないパラグアイ語で、ぼそぼそとおしゃべりをする。「どうしたの?」と聞くと「なんでもない」と答える。今一つ私の心に飛び込んでくれない。段々、授業をするのが苦痛になってきた。栄養の講義を小一時間で終わらせたいやうで帰ってきた。三六kmのデコボコの赤土道を、オフロードバイクでまた走るかと思うと、気が重くなった。

調理実習を終わらせて早々に引き上げよう。そして、こんなやる気のない生徒は、今日限りで終りだ。事務所にも、しかるべく報告をしよう。あちこちに学びたい生徒は沢山いるのに、やる気のない子に時間を割く暇はない。ここにはもう来ないぞと決意して調理実習に入る。今日はパラグアイ人に受けのいい人参コロッケ、人参ホットケーキ、人参トルティーヤ(南米の家庭料理、天ぷらのかき揚げのようなもので中身がチーズ)等を作る。

ところが、実習中も私の指示をクスクスと笑う。私がすること、なすことに笑って、こそこそ話をする。いい加減頭に来て「やる気がないんだったら、もうやめよう」と言つと「やる気はある」という。全くわからない。実習が終わり、試食になつても手を出さない。「食べてごらん」と言つとまたこそこそ顔を合わせ、恐る恐る手を出す。しかも、よく出来ているにもかかわらず「美味しい」の一言もない。本当によく解らない。とにかく授業は終わったが、非常に不愉快だ。リーダーが「先生次の課題は、何を留意すればいいですか?」と聞いてきた。

とりあえず課題をだしたものの意気消沈だった。

生徒たちが帰った後、家主の娘とゆつくり話す機会を得た。普通、家を解放してくれるのは村一番の金持ちか、それ相当と決まっている。彼女は、実習の食事はとても美味しく、こんなものは生まれて初めて食べた。私達はお金がないので、勉強した料理を明日早速作つて、村の人に売りたいと言った。



あぁ・・・この村も本当に貧乏なんだ。今日は、わざわざ私の初めての授業のために、とおきの洋服を生徒達は着ていたのに気づかなかった。私は、頭を石で打たれた気がした。そういえば一年二カ月前、私がパラグアイに着任して初めて持ったクラスの生徒達も、ほとんど笑わず、こそこそとグアラニ語で話をしていた。でも、

で終りだ。事務所にも、しかるべく報告をしよう。あちこちに学びたい生徒は沢山いるのに、やる気のない子に時間を割く暇はない。ここにはもう来ないぞと決意して調理実習に入る。今日はパラグアイ人に受けのいい人参コロッケ、人参ホットケーキ、人参トルティーヤ(南米の家庭料理、天ぷらのかき揚げのようなもので中身がチーズ)等を作る。

ところが、実習中も私の指示をクスクスと笑う。私がすること、なすことに笑って、こそこそ話をする。いい加減頭に来て「やる気がないんだったら、もうやめよう」と言つと「やる気はある」という。全くわからない。実習が終わり、試食になつても手を出さない。「食べてごらん」と言つとまたこそこそ顔を合わせ、恐る恐る手を出す。しかも、よく出来ているにもかかわらず「美味しい」の一言もない。本当によく解らない。とにかく授業は終わったが、非常に不愉快だ。リーダーが「先生次の課題は、何を留意すればいいですか?」と聞いてきた。

あれには理由があった。外国人と生まれて初めて接するので照れてしまつたり、田舎なのでスペイン語がうまく話せず、恥ずかしくて私に話しかけられなかったり、目を合わせるとあてられるので、下を向いていたりそばを向いたりしていた。

でも慣れると冗談を言いはじめ「ヨコヨコヨコ」となつてきた。そうか! この村の子達も同じではないか! 全く忘れてしまつていた感覚だった。やる気がないと勝手に思い込んでしまいい、本当に申しわけない心の底から思った。

また一つ、村の子供たちに教わつてしまった。私の知らず知らずのうちに高慢知己になつてしまつていた心が、村の子供たちの心を見抜けなくしていたということ。

バイクで村を後にした。牛車からこぼれ落ちた綿花が、道の脇に雪のように積もり、真っ青な青空と緑の大地の中できらきらと輝いていた。この子供たちとも仲良くなれそう、暖かな予感がした。

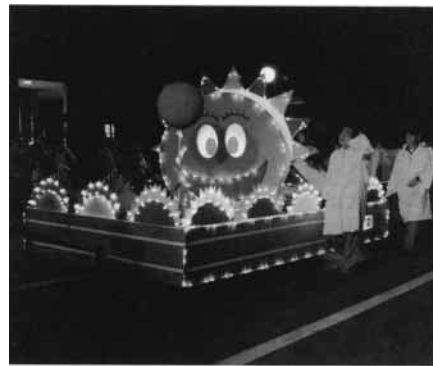
(昭和五十九年三月家政科卒業)

アジアマンス

「アジア太平洋フェスティバル'94」

アジアナイトパレード
本学生も盛上げにひと役

福岡市で開かれていた「アジア太平洋フェスティバル'94」のフィナーレを飾るアジアナイトパレードが九月二十五日夜、福岡市の目抜き通りの祇園町から天神にかけて繰り広げられた。パレードには海外十二都市の首



長をはじめ、四十二団体約二千六百人が参加。アジア色豊かな、カラフルな衣裳に身を包んで練り歩いた。

本学がある「城南区」のパレードには、学園祭実行委員会を中心とする本学学生約百五十名も参加。

「世界の食生活」

—台湾の子どもの食生活—

食物栄養学科・食物栄養科

教授 城田 知子

台湾在住・本学大学院卒業

鄭 昕 薇

城田教授は、一九八三年から福岡県の久山町で栄養疫学研究を行なっているが、中学校生徒の健康生活習慣調査において、食事内容の偏りや血清脂質等かなりの異

常値を示す生徒がいることがわかり、小児成人病への危険性の大きいことを指摘している。

台湾は、わが国と同じような米食を中心とした食生活であるが、果たして台湾の子どもの実態はどうか。本学大学院に在学中であった鄭氏とともに、台北市とその周辺に住む小・中学生を対象に行なった食事習慣、食物摂取状況、健康度指標など、自記入式の調査表からまとめたデータをもとに、その健康生活実態報告というかたちでまとめられている。

(発行)社団法人全国食糧振興会)

海外出張の記録

(氏名・職名 ①訪問国・期間)

①山元 寅男 教授

①ポルトガル(7/23-8/1)

②国際解剖学会研究発表

権藤 興志夫 教授

①韓国(7/17-7/3)

②日韓・韓日合同学術会議参加

①中国(8/14-8/24)

②中国比較教育学会での講演、

地方問題に関する研究所訪問

山根 一文 助教授

①オーストラリア(7/31-8/26)

②英語・文化海外研修の引率

谷口 巳佐子 教授

①インド(9/18-9/25)

②国際生化学・分子生物学学会

研究発表

林 辰美 助教授

①スウェーデン(9/8-9/16)

②スウェーデン基礎学校における健康教育、学校教育の調査

研究

原 孝之 助教授

①アメリカ(9/24-10/1)

②文部省科研費国際学術研究共同研究打ち合わせ

教育ワークショップを開催

教育効果を高めるための方策を真剣に討議
学生も授業方法への希望を語る

大学設置基準の大綱化により、
本学では、すでに教育改善委員会
で、カリキュラムの見直しと教育
目標の設定が行なわれた。また、
これに引き続いて現在は、自己点
検・自己評価委員会が設置され、
教育・研究全般についての見直し
が進行中である。

第一回教育ワークショップが開催
された。
開会に先立って、山元学長は、
「知識の伝達は感動を与えること
が原点である。日本の大学の教員
は、研究面では優れていても、教
育という点では未熟であると言わ
れている。本学における教育の質
の向上を目指すためにはどうした
らよいか、全員で研究、討議した
い」と挨拶。
この後、権藤興志夫教授と山下
功教授の基調講演に引き続き、
「学生に授業内容を理解させるに
は？」のテーマで、山藤圭子教授、
中野隆二助教授、西岡弘晃教授、
飯坂也教授の順で発表があった。
また、教員からの学生に対する
アプローチだけでなく、学生の意
見や要望も真剣に聞く必要がある
と、今回は食物栄養学科食物栄養
学専攻四年の増本百合さんと児
童学科児童教育学専攻の原田千恵
さんにも、授業に望むことのテー
マで、意見を発表してもらった。
「先生方は、講義をとおして何を
伝えたいのか」「学生は、先生と
の出会いを大切にしたいがっている
ことを知ってほしい」など、日頃
感じていることについて、率直な
感想を述べた二人に、深く頷く教
員もいた。
午後一時から五時三〇分まで
四時間半にわたって開かれたこの
ワークショップの成果が、大いに
期待される。

受験生と父母にキャンパスを公開

1100名が熱心に見学

今年も大盛況
受験生とその父母を対象にした
キャンパス公開が、八月一日開催
された。これは、受験生が授業を
体験したり、施設を見学すること
で大学の雰囲気を感じ、受験の
参考にしてもらおうと、例年開催
されている。
今年は、千百名の参加者があり
昨年の七百五十名から大きく増加
して、過去最高の参加者となっ
た。大阪府や愛媛県から参加した
高校生もあり、普段にもまして賑
やかなキャンパスになった。



学科の先生と面談する受験生

模擬講義で大学生気分
模擬講義も次のとおり学科別に
開催された。

食物栄養学科・食物栄養科
「健康・美容のための食事と運
動」（今村裕行講師）
児童学科・幼児教育科
「心理学実験―視覚―」（山下
功教授）

短期大学家政科
「円高ドル安と家庭経済」（西
岡弘晃教授）
「パソコンに触れてみよう」
（酒見康廣助教授と堀田鈴子助
教授）

どの講義も、参加者には好評
で、大学で実際にどんな授業があ
るか、体験できてよかったという
感想が述べられていた。なかには
パソコンがおもしろくて、一時間
半も操作したという高校生もい
た。

キャンパスでの再会を祈って
このキャンパス公開の参加者の
アンケートには、「参加して、ま
すます中村学園に入学したい気持
ちがわきました」「自分と同じよ
うな受験生をみて、頑張ろうとい
う気持ちになりました」といった



感想があった。
このキャンパス公開に参加して
くれた皆さんが、今度は本学の学
生としてこのキャンパスで再会で
きることを祈っている。

外国人留学生特別選考の入試
要項決まる

外国人留学生のための、特別選
考の日程が次のとおり決定いたし
ました。

出願資格、出願書類について
は、企画広報室までお尋ねくださ
い。

中村学園大学

出願期間 平成七年一月十二日
（木）から二月二十一
日（土）まで
試験日 平成七年二月四日（土）
合格発表 平成七年二月十日（金）
入学手続締切日
第一次 平成七年二月二十三日
（木）
第二次 平成七年三月二十四日
（金）

管理栄養士国家試験

管理栄養士専攻は全員合格

紙面の都合上、今年三月卒業生の
みを掲載する。（敬称略）

〔食物栄養学専攻〕

木村澄子・行徳千恵加・串間美恵
・高橋昌子・林田清美・松友圭子
・米田陽子

〔管理栄養士専攻〕

荒木涼子・石井淳子・一木千代・
一木礼子・江上重矢子・近江雅代
・太田紀子・大庭典子・緒方朗子
・尾方里香・小野良子・梶山順子
・河野貴美子・川畑静香・岸村正
美・久保奈緒美・熊井まどか・佐
藤由季・佐土原香澄・重本栄子・
島崎理香・妹尾健太郎・宗めぐみ
・高尾洋香・高野美幸・谷口聡美
・田村都・反田葉子・地福久美・
津上礼子・鍋田由紀子・西久美子
・根子和恵・拜生真由美・畠中博

子・濱崎佐織・濱地昭代・早川由
美・日高珠真美・本田ほのか・三
角純子・宮崎路子・宮本泰子・三
輪聡子・山下厚子・山本香織・吉
田千佳映・吉田由美

〔管理栄養士国家試験〕

試験科目

(1)解剖生理学(2)病理学(3)生化学
(4)栄養学(5)健康管理概論(6)食品学
(7)栄養指導論(8)臨床栄養学(9)公衆
栄養学(10)給食管理(調理学を含む)
(11)公衆衛生学(12)食品衛生学(13)食品
加工学の計十三科目である。

ただし、修業年限が四年である
管理栄養士養成施設（本学の場
合、管理栄養士専攻）を卒業した
者は、このうち(1)～(6)の六科目が
試験免除されている。

全国の栄養士養成施設の 教員が集まり研修

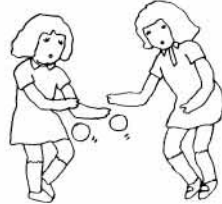
栄養士養
成施設の教
員を対象と
した研修会
（主催 全
国栄養士養
成施設協会
が、八月二
日から四日
まで、本学
で開催され
、全国から六
十五名が参
加した。

教員が講師となり、専門的な立場
から講演と実験を行った。
「一大学のスタッフだけでこれだ
けの研修ができたのは、きわめて
素晴らしい」と参加者から称賛の
感想も聞かれ、有意義な研修会と
なったようだ。

	8月2日（火）	8月3日（水）		8月4日（木）
午前	開 会 オリエンテーション 講 演 電子顕微鏡でみた消 化・吸収機構 学 長 山元 寅男	Aコース インスリン分泌と糖の 代謝 教 授 水上 茂樹 糖尿病の食事療法 教 授 伊藤 和枝	Bコース 食品蛋白質の乳化和そ の周辺 教 授 大村 浩久	講 演 虚血性心疾患はどこ迄 治せるか 教 授 中村 元臣 閉 会
午後	講 演 食品の安全性 教 授 吉村 英敏 食品中の砒素の毒性 教 授 石西 伸 懇親会 於：カフェテラス	実 験 糖尿病の診断 1. ヘキソキナーゼ・ G6P テヒドロゲナー ゼ系による血糖測定 2. ヘモグロビン A _{1c} の測定 助教授 広井 祐三	実 験 乳化物の物性測定 教 授 古賀 義子 教 授 吉岡 慶子	

子どもの心(16)

児童学科・幼児教育科
助教授 真 野 素 近



人間の活動はそのほとんどが大
脳によって支配されていますが、
身体各部の活動は最近の脳の研究
によってその関係が明らかにされ
てきております。なかでも手の働
きは、脳の大きな部分によって
行われ、手は外部に表われた脳で
あるとも言われています。

手で物をつかんだり、握ったり、
つまんだりするとき、手の筋肉が
働き運動器官となりますが、手で
物をつかむときには物に触れてそ
れが何であるかを知るといふ感覚
器官でもあるわけです。手が上手に
使えるのは、脳を上手に使えるか
らで手は外部の脳であるというこ
とは脳と手との関係をうまく表
現しています。このように脳の
発達の手は上手な活動を促すわけ
ですが、手を上手に使うことによ
って脳に刺激を与え、逆に脳の
発達を促すのではないかと考えら
れます。

子どもは体験を通していろいろ
なことを学び脳の発達をさせて
いますが、この時期に手や指先を
使った活動を十分させることによ
って、より一層大脳の発達を促し、
よりよい成長が期待できるのでは
ないかと思われます。

昔からあります子どもの遊び、
折紙とかあやとり、砂や土のおだ
んご作りなどいろいろある手作り活
動、工作はその意味でだいへんよ
い遊びであると思います。

しかしながら、人間が手を十分
に使えるようになったのは足で立
つようになったからでしょう。手
を独立させ、創造的に使うには足
と神経系が正しく動くことが大切
です。そのためには、健康である
ことが第一です。足を十分に使い
全身を健康に保てば、手は一層創
造的に活動ができ、脳を一層発達
させることができると思います。

このことは子どもの健康な心を
育てる上からも重要なことだと考
えます。

子どもの時代に手の活動を十分
取り入れ、活発な身体活動を通
して、よりよい脳の発達と健康な
心身を育てたいものです。

創立40周年を機に

中村学園のシンボルマークと ロゴタイプを制定しました

- ① シンボルマークとロゴタイプは、単にビジュアル上の目印ではなく、もつと奥深いもの、つまり、これまでの中村学園の生い立ちを振り返り、現在の位置を確認した上で、これからは「どうあるべきか」、「どうありたいのか」といった中村学園のアイデンティティを、社会に向かって決意表明する拠り所になるものです。
- また、学園に集う全ての教職員の和の創造の核になるものでもあります。
- ② シンボルマーク制定に当たっては、在学生（在校生）、卒業生、企業の人事担当の方、それに教職員、あわせて一〇、五三五名の方々に中村学園についてのアンケートをお願いし、これを基に様々な角度から論議をし、これからの中村学園のあるべき姿としてのキーワードを、『堅実』『個性』『伸展』の3つに集約いたしました。
- ③ シンボルマークは、このキーワードを基に幼稚園、中学校、高等学校、短期大学、大学、大学院をもつ総合学園としての広がりや情熱をイメージして作成したものです。また、ロゴタイプもシンボルマークに調和させたものです。

菅野栄登士国家府館

学校法人
中村学園

形

未来に向かって飛躍する『個性』ある学園の姿をイメージしました。また、中村学園の頭文字である「n」をシンボライズした形でもあります。

色

サンシャイン・オレンジ／中村学園の持つ、あたたかく伸びやかな校風とひとりひとりを大切にする教育、未来を照らす太陽のような情熱を表現したカラーです。
トラディショナル・パープル／中村学園の伝統および堅実な教育の姿勢を表現したカラーです。

障害乗り越え世界記録で金メダル

卒業生 梶原紀子さん

「第六回極東・南太平洋身体障害者競技会（フエスピック）」が中国・北京市で開かれた。

脳性まひで両足が不自由なハンデをもつ福岡市職員の梶原紀子さん（短大・食物栄養科昭和六十六三年卒業）は、九月九日、百メートル平泳ぎに出場。自己の持つ世界記録を塗り替える二分二十一秒五十六の世界新記録で優勝した。

また、競泳五十メートル自由型・百メートル自由型でも優勝し、あわせて三個の金メダルに輝いた。

梶原さんは初の国際大会出場で、地元や水泳連盟からの期待がこもった「JAPAN」の文字が重く感じる中、日本を出発したが、中国で体調を崩し、メダルを取る自信はあまりなかったと言ふ。

無我夢中で泳ぎ終わり、ゴールした瞬間、電光掲示板の世界新記録の掲示を見て、「安堵感とうれしさで胸がいっぱいになりました。日の丸が上がり、君が代が流れた時は、水泳をやっている本当によかった」と心から思い、涙が流れたそう。

同大会は、九月四日から十日まで開かれ、大会史上最多の四十二カ国・地域から二千八十一人が参加した。機能障害、視覚障害、脳性まひ、脊髄損傷などを持つ人が出場資格を持つ。

梶原さんは競泳を始めて六年度。最初は市民プールの水泳教室からスタートしたそう。三年間



金メダルを胸にし喜ぶ梶原さん

位はコーチについて習い、毎日約二時間練習していたが、その後は自分で今まで習ってきた事をヒントに、メニューを組み立てて一日約二千三百メートルの距離を泳いで練習を積んできた。福岡市中央区役所市民課での仕事の帰りに、プールに通い続けていたが、この地道な練習の成果が、世界のひのき舞台で実を結んだ。水泳の楽しさを知り、遠征に行くようになって全国に友達も増えたそう。

梶原さんは「今後は、水泳の楽しさをスィミングクラブの新入部員や子ども達に教えていきたい」と楽しそうに抱負を述べてくれた。

大移動！

リフレッシュ計画に伴う移転のお知らせ

学生課、企画広報室、売店が移転しました。

学生課と就職資料室

学生課は中央本館一階から二階へ移りました。また、就職資料室と就職情報掲示板のスペースが拡張されました。

張されました。

企画広報室

企画広報室は、東一号館二階から中央本館一階の教務課隣りに移りました。

売店

第一、第二売店が一つになり東二号館の一階にリニューアル。雑誌も取り扱うようになり、雰囲気は、ちょっとしたコンビニです。一度のぞいてみて下さい。

中央本館1階



東1号館2階



就職状況

厳しい就職戦線
学生の皆さんは現実的な対応を

平成不況は思いのほか長引き、

学生の就職にも直接影響を与えています。昨年度から、企業のリストラによる人員削減や採用中止のニュースが多く飛び交い、不況の雇用に与える影響が、いかに大きいかを改めて痛感させられました。景気が回復しないことには、就職戦線が明るくなるという見通しが立てられませんが、最近では、ようやく回復に向かっているとの報道がなされるようになりました。しかしながら、雇用情勢は過去不況から見てても、半年から一年遅れで推移しており、本年度の卒業予定者にとっては、まさしく最悪の就職環境となっております。特に、一般事務職の採用については抑制傾向が一層強まり、建設・鉄鋼・商社・生命保険などでは、採用そのものを中止する企業が目立っています。

学生課としても、このような状況を想定して、早い時期から、例年にも増して新しいプログラムを組み、就職指導や求人情報の収集を行なっておりました。特に次の項目については、就職説明会や個人面談等で機会あるた

びに強調してきたことです。
不況時における就職活動のポイント

- 一、早い時期から就職意識を高める。(自己分析・情報収集)
- 一、仕事選び、会社選びは自分が軸となること。(行動力)
- 一、仕事内容を見ずにイメージだけで判断しないこと。(職種にも幅を持つ)
- 一、有名・一流企業ばかり考えないこと。(中堅・中小企業にも目を向ける)

今年の採用試験の特徴として、資料請求やセミナーの参加者のみならず、受験の機会が与えられなかったり、電話で先着順に受け付けを行ない、応募者を絞り込んだ企業が多いようです。また、採用試験においては、筆記試験の科目を増やしたり、集団討論を加えた企業も増えています。

短大の一般事務職の場合、学校推薦を依頼する企業もありますが、求人数が減少し、なおかつ推薦人数枠が例年により少ないため、学校推薦を得ることも困難な状況にあります。



学生課でアドバイスを受ける学生

第三回アジア栄養科学ワークショップ

「食生活とがん」をテーマに開催

第三回アジア栄養科学ワークショップ(主催 中村学園栄養科学研究所、協賛 日本コカコーラボトリング)が、十月一日に、西一号館一〇階の大講義室を会場に開催された。

今回は「食生活とがん」をテーマに、わが国の代表的な研究者である廣畑 富雄氏(九州大学医学部教授)、古野 純典氏(防衛医科大学学校教授)、藤木 博太氏

研究論文で学会賞を受賞

食物栄養学科 今村 裕行 講師
児童学科 増田 隆 講師

食物栄養学科の今村裕行講師が日本総合健診医学会誌に発表した論文に対して学会賞が授与された。表題は「運動型健康増進施設利用会員の医学的側面と運動効果について」で、南大阪総合健診センターにおけるスポーツ施設会員の医学的側面と、三十回の運動が会員の体力測定項目に及ぼす影響について調査、検討した内容となっている。

アスレティッククラブなどの現場における実践的研究を行なったもので、こうした研究は極めて少なく、その先駆的研究が評価され

科学研究費補助金決まる

平成六年度の文部省科学研究費補助金の交付が、次のとおり決定した。

- ▽中村 元臣 教授 (代表)
藤田 守 教授 (分担)
谷口巳佐子 教授 (分担)
青峰 正裕 教授 (分担)
原 孝之 助教授 (分担)
阿部志摩子 助手 (分担)
- 〔研究テーマ〕
急性心筋梗塞の発症機序に関する実験的研究―局所要因と神経体液性要因の役割
- 〔区分・補助金交付額〕
一般研究B・一六〇万円
- ▽藤田 守 教授 (代表)
原 孝之 助教授 (分担)
松隈 美紀 助手 (分担)
馬場 良子 副手 (分担)
- 〔研究テーマ〕
高比重リポ蛋白(HDL)の細

胞内輸送経路に関する免疫組織化学的、超微形態学的研究

- 〔区分・補助金交付額〕
一般研究C・七〇万円
- ▽伊藤 和枝 教授 (代表)
中村 元臣 教授 (分担)
- 〔研究テーマ〕
ヒトの血圧と脂質代謝に及ぼすKとMgの経口摂取量の影響について
- 〔区分・補助金交付額〕
一般研究C・七〇万円
- ▽青峰 正裕 教授 (代表)
大和 孝子 助手 (分担)
太田 千穂 助手 (分担)
- 〔研究テーマ〕
香辛料辛味成分の非栄養素としての生理作用の比較研究
- 〔区分・補助金交付額〕
一般研究C・四〇万円
- ▽原 孝之 助教授 (代表)

竹嶋美夏子 助手 (分担)

〔研究テーマ〕
コレステロール側鎖切断反応メカニズムと関連遺伝病の解析

〔区分・補助金交付額〕
一般研究C・五〇万円

▽林 辰美 助教授 (代表)

〔研究テーマ〕
小・中学校生徒における成人病予防のための集団力学的栄養指導の方法と効果に関する研究

〔区分・補助金交付額〕
一般研究C・九〇万円

▽三成 由美 講師 (代表)

楠 喜久枝 教授 (分担)

〔研究テーマ〕
在宅要介護高齢者の給食サービ

スシステムとヘルパー教育に関する評価

〔区分・補助金交付額〕
一般研究C・六〇万円

※研究分担者は学内の研究者のみ掲載。

知識の幅が広がる

公開講座

学術研究の成果を地域社会に広げるため、今年も「ホーム・エコノミックスからの提言」をテーマに、九月三日から十月二十九日までの毎週土曜日、六回シリーズで公開講座を開催した。

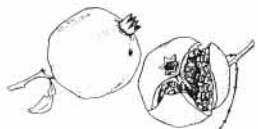
講座の内容は、多様化する社会の中で住環境・家族・教育・健康・食生活といった家庭がかかえる諸問題について考え、より豊かな明日を築くためのヒントになるものだった。

受講者は七十七歳を最高齢に、四十歳から六十歳代の女性を中心とした九十三

回	月/日	講義題目	講師
1	9/ 3(土)	開講式 オリエンテーション	学 長 山元 寅男
		古典の中の女性	教 授 伊藤 發子
2	9/10(土)	流行と人生	教 授 木下 武人
3	9/17(土)	健康と美容のための運動と食事	講 師 今村 裕行
4	10/15(土)	発展するアジアの経済と日本	西日本新聞社 論説委員 友田 浩
5	10/22(土)	魚の品質、その選び方 ―生鮮魚と解凍魚との鑑別―	教 授 吉岡 慶子
6	10/29(土)	日米における人間関係の比較心理	助教授 安部 恒久
		閉会式 修了証書授与	学 長 山元 寅男

健康生活の
ススめ(16)

食物栄養学科・食物栄養科
教授 吉村 英 敏



健康維持に栄養素の摂取は必須であるが、心の状態もまだ強く影響する。何かにつけ、くよくよ思い患っては栄養も身につかず、まだ心が満たされないと、いらいらの気分が高じて血圧も上がり、あれこれの病気の原因にもなりかねない。まさに、健全な心に支えられてこそ健康生活である。

21世紀が迫っているせいでもないだろうが、最近の世の中はやたらにうるさく忙しい。ストレスが充満し、人びとは他人への思いやりを忘れ、己のことを考えるのにきゅうきゅうとしている。当然のことながら、日常のマナーは悪くなる一方である。たとえば、歩いている人の直前を、他の人が何の挨拶もなしにいきなり横切る。少し待って後を通るのが礼儀であろうし、それを待てないなら、「済みません」と一言断って通れないものであろうか。こんな例はまだしも、常日頃、腹立たしく思うことは山程ある。

そんな現場に出くわしたからといって、しちいち腹を立てていては、それこそ「いらいら」の連続となり、体は不調を訴えてくること必定である。賢明な皆様は、このような多種多様の近代ストレスに、それなりの対処法を編み出し駆使されているに違いない。私の場合、ときに心の青春を歌に託することで、老いの一徹を抑えている(お笑いぐさに近作一つを例示)。

- 去りゆく夏
一、盛りの夏は 過ぎ去れど
路傍に浮かぶ 面影は
遠き昔に 華やきて
燃ゆる姿や まんじゅしゃげ
- 二、忘れてしまえと思えども
深く刻みし 面影は
炎の花に 映ろいて
思い悲しや まんじゅしゃげ

ただ元気な だけではないよ



私達バレーボール部は、大学男子・女子および短大女子と三つに分れています。練習は合同で、毎週3回（火・木・土）行っています。部員数80名の大所帯で、根っからのバレー好き、しかも個性あふれる人材がそろっています。体力に多少劣るを感じる上級生とフレッシュな一年生で、老若男女、とにかく元気に活動しています。

対外試合は年3回あり、6月に行われた4大学対抗戦（同好会）においては、短大チームが優勝するなど、ただ元気なだけのサークルではないという事実が証明されています。

現在、12月にある試合に向けて練習に力を込めています。バレー部独自の楽しく和気あいあいとしたカラーを、さらにさらに浸透しようと、盛り上げているところです。

バレーボール部

顧問 桜井 至 教授
田中 浩子 助教授
活動日 毎週火・木・土曜日
の放課後
部員 80名

今年も学園祭の季節がやってきた。十一月十一日から十三日まで、三日間、テーマは「めつけもん」さがし続けて四十年きつと見つかる宝物」となっている。

十一日の前夜祭ではオープンニングセレモニーやダンスパーティー、十二日はミスキャンパスコンテストや集団お見合い、そして最終日十三日の後夜祭では今年の目玉である高橋克典のコンサートやフォクダンスなど、多数の楽しい企画を予定している。また、三日間通して掘り出し物がいっぱい、チャリティーラリーやセールや子供が喜ぶお化け屋敷、味が自慢の模擬店なども行われる。

今年も学園創立四十周年でもあり、一層盛り上がるだろう。

学園祭実行委員の安部さんは「スタッフが一生懸命やっていま



昨年の学園祭から

す。学生だけでなく大人から子供まで楽しめる学園祭ですので、市民の皆さんもぜひおこし下さい」と呼びかけている。

私達と一緒に霜月祭を 盛りあげていきましょう！

学園祭実行委員一同

各競技で熱戦

第44回九州地区大学体育大会
(夏季大会)

ソフトテニス部が団体戦3位に

第四十四回九州地区大学体育大会の夏季大会が、福岡地区を主会場に、六月二十六日から八月二十一日まで開催された。

この大会は、スポーツを通じて九州地区大学相互の親睦を図り、併せて学生体育の普及、発展に寄与することを目的にしている。本学からは、陸上競技、ソフトテニス、バスケットボール、弓道の四種目に出場した。

七月十四・十五日には、本学の体育館で女子バスケットボールの試合が行われ、熱戦が繰り広げられた。

四種目とも本学の選手たちはよく健闘したが、中でもソフトテニスでは団体戦で三位入賞、個人戦ではベスト一六に入るという好成績をおさめた。

今回は教育実習と前期試験に狭まれ、しかも猛暑の中での試合とあって、ベストコンディションで望めなかったものの、部員達は「最後の一球まで全力で走り、全員が力



本学体育館にてバスケットボールの試合

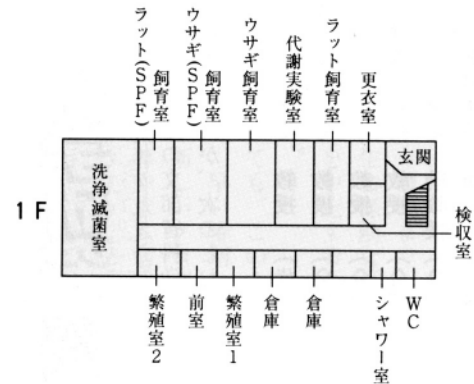


ソフトテニス部の監督と選手たち

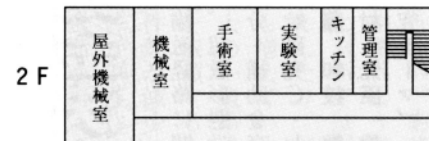
を合わせて頑張った」と、感想を語っていた。

学園祭

1階平面図



2階平面図



ちっちゃなネズミはマウスと呼ばれる。とても、愛らしい。マウスは約150匹いるそうだが、中には糖尿病や肥満のモデルマウスもいる。



大きなネズミがラットだ。約150匹飼われている。先生や大学院生などの実験のための繁殖も行っており、市価の3分の1の値段で分けているそうだ。



↑

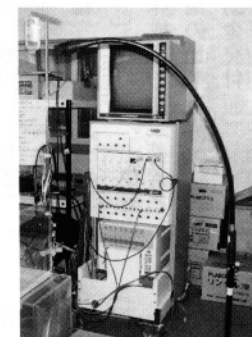
(写真二)
案内してくれた田中さん。
「この中村学園のアニマルセンターは、とても高いクオリティで運営されています。その質を維持しつつ、もっとたくさんの先生方に利用していただきたいですね」

施設紹介 アニマルセンター訪問

アニマルの暮らしは人間よりも快適？

アニマルセンター。ここは、食物栄養系の先生や大学院生が行う実験のための動物を飼育している場所。よって、一般の学生は、なかなか中に入ることができない。その内部の様子をここにレポートする。

二階の実験室。動物の心電図を測る機械など、実験のための設備があった。



↑

(写真一)
中に入ると、まず、こういった服装に着がえることになる。これは、人間のバイ菌から動物を守るため。手も消毒液で洗浄した後、さらにアルコールをふきつける。

SPF室という、特に指定された微生物、寄生虫のいない動物の部屋に入る時は、さらにホコリ一つつかない服装にならなければならない。動物を汚染してはいけないので、ここの取材は断念。



ウサギは40匹いる。

1冊の本

「アルジャーノンに花束を」

著者 ダニエル・キイス/小尾美佐訳
発行 朝倉書店
食物栄養学科 助手 大和孝子

もし、あなたに「頭が良くなる手術を受けてみないか？」と、の話があったら、どうしますか？ 私は、頭が良くなるという事には興味がありますが、実行するだけの勇気はありません。

この本の主人公は、三十二歳にして幼児程度の知能しかない精神薄弱者ですが、日常生活においてもっと頭が良くなりたいと願っていたため、この話に飛びつき、さっそく脳外科手術を受けました。術後、彼の知能指数は予測通り向上を続け、二十カ国もの語学をマスターし、論文を書き、一流の科学者達とディスカッションできるまでになりました。

しかし、それと同時に、手術前の幼児的知能では理解不可能なこと、つまり大人としての、自分のための地位や名声、他人に対する見栄といったものなど、その行為の真の意味を理解し、「知らない方が幸せだった」と言うことで人間不信に陥る様になるのです。このような経験は、誰しもあるのでは、と思われませんが、できることなら、たくさんの事を知りたい、学んでみたいという好奇心を持ち続け、限られた人生を、より感動のあるものとして送れたら、ということ、この本は示唆しているのではないのでしょうか。



平成五年度決算

学校法人中村学園の平成五年度決算は、去る五月三十日の評議員会及び理事会において承認されました。

学校会計は国の地方公共団体の会計と同様、単年度毎の予算管理に基づく収支会計（学校会計では資金収支）であり、私学は自助努力による永続性が要求されるため、企業会計の要素（退職給与引当金繰入額、減価償却等）を加味した、消費収支という採算制を考慮した会計方式の二本立てとなっております。資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表について、五年度の主な事項は次のとおりです。

一、資金収支計算書について

「大学院、大学、短期大学関係」学生納付金については、授業料の一部を改定しました。補助金収入は文部省より私立学校施設整備補助金として、六〇三万円。事業収入として中村学園事業部より一、〇〇〇万円の寄附。借入金等収入は隣地購入のため、日本私学振興財団より一億五、〇〇〇万円の借入れがあります。

支出の部の教育研究経費支出では、大学栄養科学研究所でアジア栄養科学ワークショップに一八二万円、教員一名の海外長期研究費に三〇〇万円、従来の講義概要に代わるシラバス（授業計画）制作費五五〇万円、および国際学会発表者三名の旅費等の支出がありました。

借入金等返済支出では、今後、借入金は土地の購入に對してのみとし、その他は行わないという方針に基づき、住宅金融公庫からの寮建設資金の借入残額四億九、六五三万円を繰り上げ償還しました。施設設備関係支出では、隣地購入費 三億四、七八〇万円 学生ホール冷暖房工事費 五、五五三万円 第二学生ホールの増築工事費 四、〇二〇万円 家政科情報処理室のパソコン（七十五台）の購入費 五、五〇四万円

「女子中学校、女子高等学校」生徒納付金の一部改定、事業収入では中村学園事業部より四〇〇万円の寄付を受けています。

支出の部では、教員一名の海外研修旅費や女子中学校・女子高等学校と同様に、生徒募集用の学校紹介ビデオテープ制作したほか、中学校広告関係にも力を入れました。また、施設設備関係では、柔道場の全面畳式への改造や、小教室を普通教室へ改造する等の整備を行いました。

「あさひ幼稚園・老岐幼稚園」両幼稚園の園児納付金の改定をし、施設設備関係では、あさひ幼稚園の観察室（母の会室を兼ねる）の冷暖房工事や、老岐幼稚園の教職員室等の冷房工事等、施設の充実を行いました。

学園全体としては、次年度繰越支払金が予算に対し三億三、一五二万円増加しました。

二、消費収支計算書について

教職員の待遇改善のための退職金の改正により、退職給与引当金

繰入額が前年度に對し一億五、八六二万円増加しました。

基本金組入合計額は、施設関係支出、設備関係支出及び借入金返済等で一七億三、五二六万円とな

り、当年度消費支出超過額は六億六、三〇九万円となりました。

三、貸借対照表について

資産総額は二〇一億八、一六六

万円で前年度末より八億七、六八五万円（四・五％）の増加となりました。

また、負債総額は三億七、〇四九万円、前年度より五・〇％

減少しました。

資産総額から負債総額を差し引いた「正味資産」は一六四億四、五一六万円となり、前年度より七・〇％増加しました。

以上が平成五年度における本学園の決算概要ですが、次年度も財政の健全化に向けて、更に努力を続けたいと考えています。

貸借対照表

平成6年3月31日

資産の部（単位円）

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減(△)
固定資産	18,215,970,551	17,627,457,646	588,512,905
有形固定資産	17,182,057,199	16,504,891,705	677,165,494
土地建物	6,252,265,164	5,201,511,136	1,050,754,028
構築物	9,207,665,974	9,314,433,193	△ 106,767,219
構築物	391,061,926	389,723,421	1,338,505
教育研究用機器備品	449,604,406	425,774,415	23,829,991
その他の機器備品	59,412,694	65,686,942	△ 6,274,248
図書	771,974,070	716,745,445	55,228,625
車輦	13,072,965	18,714,453	△ 5,641,488
建設仮勘定	37,000,000	372,302,700	△ 335,302,700
その他の固定資産	1,033,913,352	1,122,565,941	△ 88,652,589
電話加入権	2,405,317	2,255,349	149,968
有価証券	897,161,856	999,941,384	△ 102,779,528
収益事業入金	20,000,000	20,000,000	0
出資	24,027,640	22,375,140	1,652,500
長期貸付	1,888,539	3,164,068	△ 1,275,529
第3号基本金引当資産	88,430,000	74,830,000	13,600,000
流動資産	1,965,691,675	1,677,345,169	288,346,506
現金・預金	1,538,220,407	1,282,187,680	256,032,727
有価証券	60,000,000	40,000,000	20,000,000
特定金銭信託	300,000,000	300,000,000	0
未収金	66,475,204	52,741,812	13,733,392
仮払金	996,064	2,415,677	△ 1,419,613
資産の部合計	20,181,662,226	19,304,802,815	876,859,411

負債の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減(△)
固定負債	2,159,201,313	2,241,240,744	△ 82,039,431
長期借入金	1,093,608,256	1,294,652,010	△ 201,043,754
退職給与引当金	1,065,593,057	946,588,734	119,004,323
流動負債	1,577,294,807	1,690,559,181	△ 113,264,374
短期借入金	104,509,297	309,953,857	△ 205,444,560
未払金	120,812,567	106,364,732	14,447,835
前払金	1,197,065,000	1,115,096,500	81,968,500
未償還受取金	151,785,319	155,666,678	△ 3,881,359
仮受金	3,122,624	3,477,414	△ 354,790
負債の部合計	3,736,496,120	3,931,799,925	△ 195,303,805

基本金の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減(△)
第1号基本金	19,235,988,234	17,574,328,072	1,661,660,162
第3号基本金	88,430,000	74,830,000	13,600,000
第4号基本金	317,000,000	257,000,000	60,000,000
基本金の部合計	19,641,418,234	17,906,158,072	1,735,260,162

消費収支差額の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減(△)
翌年度繰越消費収入超過額	△3,196,252,128	△2,533,155,182	△ 663,096,946
消費収支差額の部合計	△3,196,252,128	△2,533,155,182	△ 663,096,946

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減(△)
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	20,181,662,226	19,304,802,815	876,859,411

- 注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 3,469,407,112円
2. 担保に供されている資産の種類及び額は次のとおりである。
土地 1,529,346,048円
建物 399,615,828円
計 1,928,961,876円
3. 退職給与引当金の額の算定方法は、次のとおりである。
法人本部・大学・短大は期末要支給額927,244,300円から私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。
高等学校以下は期末要支給額774,430,500円から私学退職金団体よりの交付金相当額を控除した金額を計上している。
4. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うことになる金額 1,197,707,000円

教職員の動き

▷新任

(平成6年9月1日付)

教授 梅埜 國夫
副手 久松 薫

▷配置換

(平成6年10月1日付)

法人本部 本田 純子(庶務課員)
学生課員 岡 絹子(教務課員)
教務課員 塩田千恵子(学生課員)

▷退職

(平成6年7月31日付)

助手 大津 泰子
管財課員 三宅 利治



計 報

児童学科・幼児教育科の高山守重教授（声楽）が心筋梗塞のため逝去、六十九歳だった。

高山教授は、昭和二十四年に武蔵野音楽学校を卒業。甘木中学校教諭、佐賀大学附属中学校教諭、大分大学教育学部教授等を歴任後、平成三年四月に本学へ教授として赴任された。

葬儀は美恵子夫人を喪主に、八月十二日美花園（福岡市）でしめやかに取り行われた。

お知らせ

コンサート

▷マンドリンクラブ定期演奏会

12月10日（土）

場所 ももちパレス

開場 PM 6:00

開演 PM 6:30

料金 400円

▷クリスタル・ハーモニー定期

演奏会

12月13日（火）

場所 ももちパレス

開場 PM 6:00

開演 PM 6:30

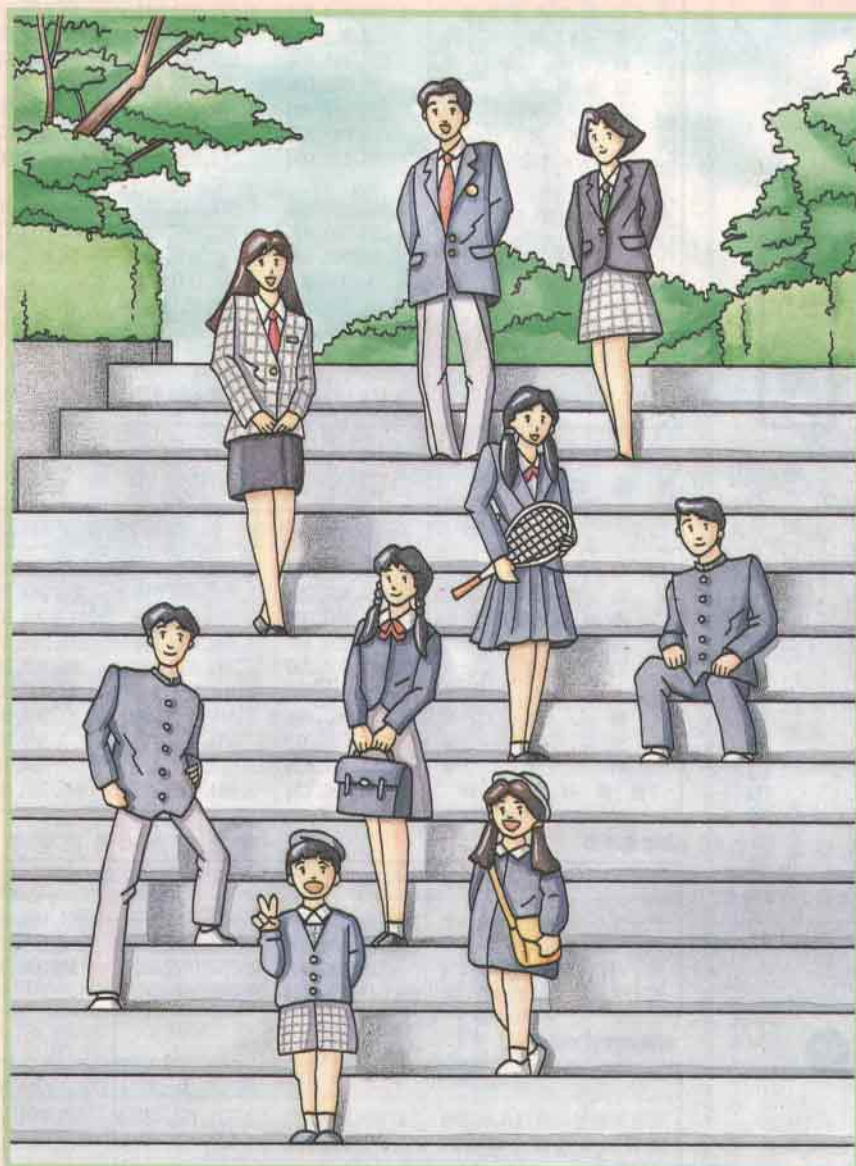
料金 500円

希望と未来へ、 Step by Step

NAKAMURA GAKUEN

40th
ANNIVERSARY

- 中村学園大学大学院
- 中村学園大学
- 中村学園短期大学
- 中村学園女子高等学校
- 中村学園三陽高等学校
- 中村学園女子中学校
- 中村学園三陽中学校
- 中村学園大学付属
吉岐幼稚園
- 中村学園大学付属
あさひ幼稚園
- 中村学園事業部



あゆみ

昭和28年12月
学校法人中村学園設立

昭和29年4月
福岡高等栄養学校開校
(昭和33年3月廃止)

昭和32年4月
中村栄養短期大学(栄養科)開学

昭和34年1月
中村学園事業部開設

昭和35年4月
中村学園女子高等学校開校

昭和40年4月
中村学園大学(家政学部)開学

昭和42年4月
中村栄養短期大学を
中村学園短期大学に名称変更
栄養科を食物栄養科に名称変更
短期大学に家政科増設
大学付属あさひ幼稚園開園

昭和44年4月
短期大学に幼児教育科増設

昭和54年4月
大学付属吉岐幼稚園開園

昭和61年4月
中村学園三陽高等学校開校

昭和63年4月
中村学園三陽中学校開校

平成2年4月
大学院栄養科学研究科
栄養科学専攻(修士課程)開設

平成4年4月
中村学園女子中学校開校

中村学園創立40周年

